

COMPANY PROFILE



ケアホーム ともづな CARE HOME TOMODUNA

● ケアホームともづな

訪問看護ステーション ともづな / 事業所番号: 4361090030
ヘルパーステーション ともづな / 事業所番号: 4371000953

● ケアホームともづな 2 番館

複合型サービス ともづな / 事業所番号: 4391000090

● 会社概要

運営主体	株式会社ともづなりハサービス
所在地	〒861-1323 熊本県菊池市西寺1581
電話番号	0968-23-7570
ファックス	0968-23-7571
設立	平成25年12月1日

ACCESS MAP

● バスをご利用の場合

JR九州熊本駅から熊本電鉄バスで約1時間
大林寺バス停で下車、徒歩7～8分

● 自動車をご利用の場合

植木ICから9.5km 車で約30分
熊本市内から国道3号線 車で約1時間

場所が分かりにくい際は、
お気軽にともづなまでご連絡ください。

tel.0968-23-7570



INFORMATION BOOK CARE HOME TOMODUNA

あなたと
ずっと
一緒に
います。

ともづなの理念

PHILOSOPHY

「起きる・坐る・移る」といった
基本動作をおこなうシーン。

「食事・排泄・入浴」といった
生活動作をおこなうシーン。

そんな日々の生活の中で、自然に、
「リ・ハビリティケア」を実践しています。

01. 個別ケアの提供

生活のパターンは人それぞれ…個別ケアを。

02. 尊厳を重視したケア

ホームは入居者の方の「生活の場」。
私たちは、入居者の方と「時間を共有」し、
「一緒に生活する」寄り添うケアを実践しています。

03. 医療面でのサポートと生活リハビリ

在宅医と当施設看護ステーション職員が連携し、
医療面でのサポートを行います。
ケアの方法や量をスタッフ間で統一し、
入居者の方の「できること」を引き出します。

生活 そのものが リハビリ。



ともづなでは、すべての行動、すべての動作を
リハビリと考え、それを実践しています。



ともづなの施設

FACILITIES

ともづなは、壹番館と貳番館
ふたつの施設で構成されています。



CARE HOME TOMODUNA

ケアホームともづな

- ・訪問看護ステーション
- ・ヘルパーステーション

●ケアホームともづな 概要

入居定員:30人(全室個室)／入居要件:要介護1～5
訪問看護ステーションともづな併設
ヘルパーステーションともづな併設

TOMODUNA NIBANKAN

ケアホーム ともづな貳番館

- ・看護小規模多機能型居宅介護事業所
(菊池地域密着型サービス)

●1F看護小規模多機能型居宅介護事業所 概要

宿泊用個室9室 + 「通い」サービス(約150㎡)

●2Fケアホーム(住宅型老人ホーム) 概要

入居定員:16人(全室個室)／入居要件:要介護1～5



設備・機器

EQUIPMENT

無駄なものを減らしながら
十分な設備と機器を揃えています。



ホール

日々の食事のほか、発表会や催し物などのイベント時にも利用できるスペース。また「通い」サービスでも解放しています。



リハビリ器具

ホールにあるリハビリスペース。歩行訓練用の器具から筋力アップの機器まで揃えており、自由に使用できます。



個室

完全個室の居室は、慣れ親しんだ家具や私物を持ち込めます。思い思いにレイアウトしてください。



中庭

あたたかい春から夏にかけての季節に解放します。ここでゆっくりするのがお気に入りの方もいらっしゃいます。



浴室

介護度の高い方にも対応した浴室をご用意。専用のシャワーキャリーに座りそのまま湯船につかることができます。



トイレ

トイレは共有のものを施設内に設置。基本的にリハビリも兼ねてトイレまでの移動を含めて職員が付き添います。

Q & A

questions and answers
よくある質問

Q. 個室にトイレはありますか？

A. ともづなの個室にはトイレや浴室は設けておりません。

「起きる・座る・移る」といった基本動作、「食事・入浴・排泄」といった生活動作、そんな日々の生活すべてをリハビリだと考えています。そのため、個室内にトイレや浴室は設けておりません。その移動もすべてリハビリだと考えているからです。

Q. 日常の健康管理は？

A. 主治医の先生との連携していて安心。

主治医の先生と連携して、必要なサービスを実施しますので、ご安心して入居いただけます。

Q. 家族の訪問時間は？

A. 基本的には朝8時～夜8時です。

原則、朝8時～夜8時までとなっていますが、緊急の場合等はこの限りではありません。また、ともづなではご家族にでぎうる限りご来訪いただくよう推奨しています。

ご入居までの流れ

FLOW

大切なご家族のことです。
まずはじっくりお話を伺います。

1

見学
事前相談
ご説明



見学・相談は随時受け付けています

まずは実際に施設まで足を運んでいただき、雰囲気を感じてもらうこととお勧めいたします。大切なご家族が長く生活する場所です。フィーリングを肌で感じてください。また、ご要望や気になる点など、何でも気軽にお尋ねください。

2

ご入居
お申し込み



お申し込みはご納得いただいたから

施設の雰囲気、サービスの概要、利用料金についてご納得いただけたら、説明時にお渡しする「入居申し込み表」に必要事項を記入して提出してください。それをもってエントリーしたものいたします。
※エントリー時の状況によっては、即対応が難しい場合もございます。

3

関連事業所
病院等調整



安心安全の確保をしっかりと

入院中の場合は、入院先のケースワーカーと、在宅で介護サービス利用中の場合は、ケアマネージャーやサービス事業所担当者と情報を共有し、迅速円滑にご入居まで至ようご支援します。また、主治医の先生とも連携を図り、安心安全な環境で生活できるよう調整いたします。

4

ご入居
お引越し



新しい生活が始まります

ここからが本当のお付き合いのはじまりです。
どうぞよろしくお願いいたします。

スタッフより

MESSAGE

「ともづな」でよかったと
言ってもらえるように。

共に生活し、寄り添うケア

入居者の方たちと共に時間を共有し、一緒に生活することで、その方に寄り添うケアを大切にしています。入居者の方やご家族にとっては、もう一つの住まいに來たと思っていただきたい。ですから、家族を施設に預けたという罪悪感はどうか、お持ちにならないでください。



24時間365日切れ目のないサービス

ともづなでは、「住まい」を軸に、「生活支援」と「ケア（介護）」「医療ケア」を組み合わせ、24時間切れ目のないサービスを提供しています。
ご家庭や一般高齢者施設で受け入れの困難な、医療的サービスの必要な介護度の高い方、認知症の方の入居も積極的に受け入れています。

よかったと言ってもらえる暮らし

お一人お一人の尊厳を重視し、生活パターンや生活ベースに合った個別ケアを心がけています。またその先にある看取りにも取り組んでいます。
共に生活し、最期を迎えられた時には、「ともづな」で暮らしてよかった…
ご本人様にも、ご家族にも、そう思ってもらいたいのです。



ともづな施設長 富来一到

ここちよい
距離間が
家族を
幸せにする

「介護が必要になっても自宅に住み続けたい」と思う人は多いでしょう。しかし、介護度が高くなるほど家族の肉体的・精神的負担は大きくなり、介護者は疲弊してしまいがちです。
自宅が介護のために安心・安全な環境とは決して言いきれないのです。
より環境の整った場所において専門家がケアすることで、入居者の皆様が安心・安全に暮らせるだけでなく、家族が良好な関係でいられるという側面もあります。

